

## ◆ 今週のコメント

- ・ A型肝炎の報告が1例(70歳代女性)があり、症状は、全身倦怠感、発熱、食欲不振、黄疸、肝機能異常です。推定感染地域は国外(カンボジア)で、感染経路は経口感染です。
- ・ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(80歳代男性)があります。本年の累積報告数は9例となっています。
- ・ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告が1例(80歳代女性)あります。本年の累積報告数は2例となっています。推定感染地域は国内で、推定感染原因は創傷感染です。本疾患は、未だその発生機序が明らかになっていないことから、届出された場合に菌株の提供及び調査票等の記入を依頼することがありますので、御協力をお願いいたします。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が2例(30歳代及び90歳代女性)あり、本年の累積報告数は32例となっています。60歳以上の高齢者に多く発症しており、ワクチンによる予防が重要となります。詳細は下記ホームページを御覧ください。  
○京都市情報館「高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について」  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>

## ◆ 今週のトピックス: <梅毒>

- ・ 京都市の平成28年における累積報告数は3例となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 4例(肺結核 3例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 1例  
【1月以降の累積報告数 64例(肺結核 39例, その他結核 8例, 潜在性結核感染者 17例)うち喀痰塗抹陽性21例】
- ・ 四類:A型肝炎 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- ・ 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例(第10週追加分)【1月以降の累積報告数 9例】
- ・ 五類:劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 2例(第10週追加分1例含む)【1月以降の累積報告数 32例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	15. 88	1, 080
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5. 85	240
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1. 39	57
	③ 流行性耳下腺炎	0. 51	21
	④ 突発性発しん	0. 32	13
	⑤ 水痘	0. 27	11
眼科	流行性角結膜炎	0. 00	0

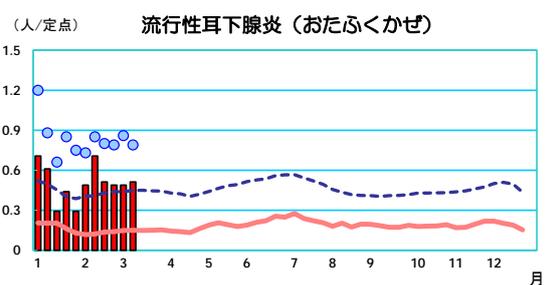
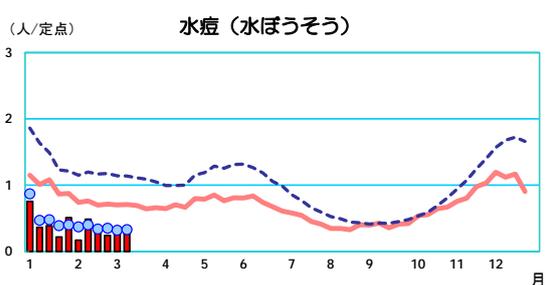
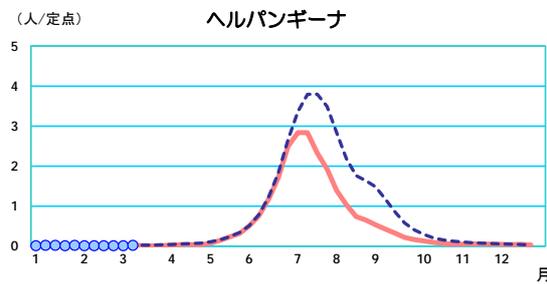
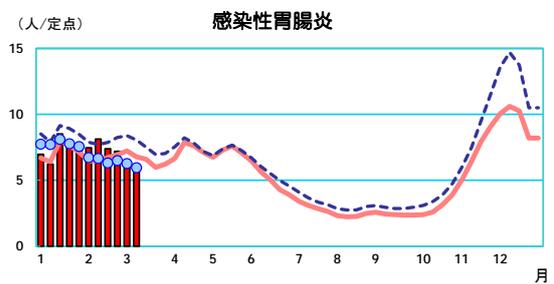
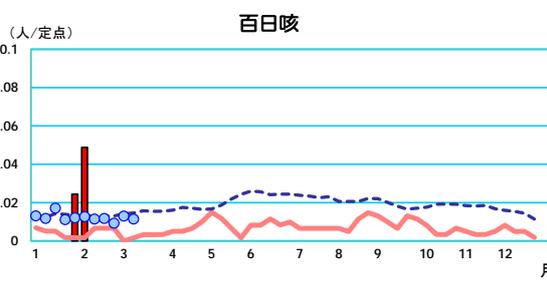
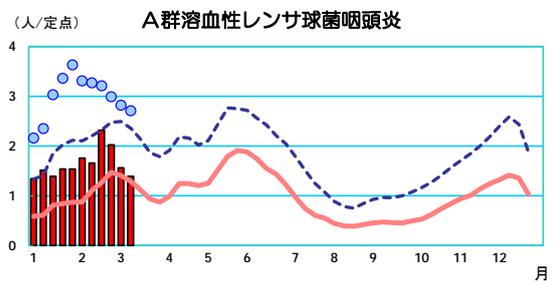
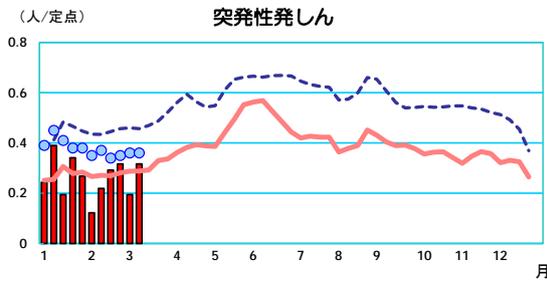
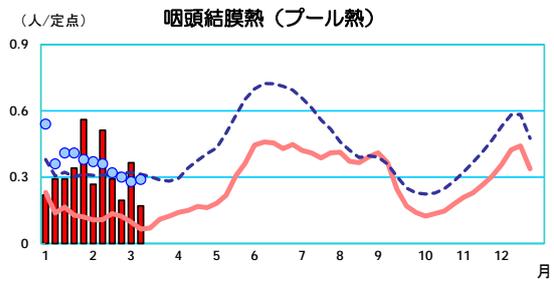
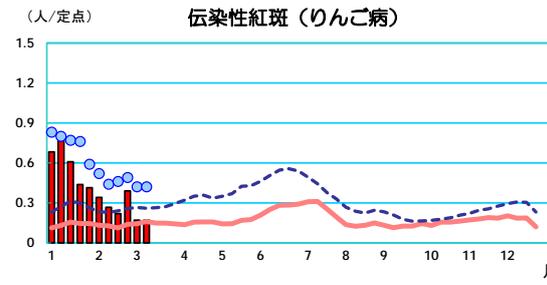
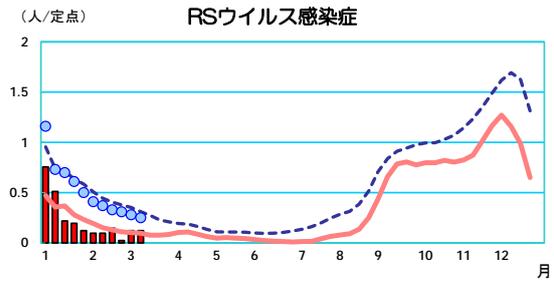
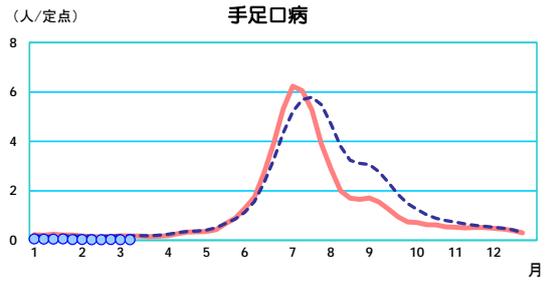
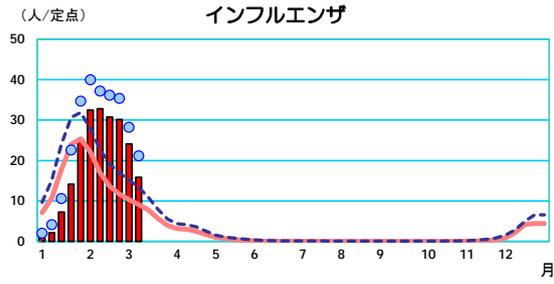
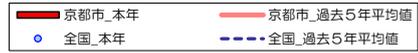
### 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <梅毒>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成28年3月24日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）



## 第11週(3月14日～3月20日)トピックス：＜梅毒＞

### ■京都市及び全国の発生動向

京都市の平成28年における累積報告数は3例となっています(表1)。性別はいずれも女性で、20歳代が2例、40歳代が1例となっています。京都市では、梅毒の報告数が年々増えており、全国でも同様の傾向が見られます(図1)。女性の増加が顕著であり、中でも20歳代の占める割合が高くなっています(図2)。病期別では早期顕症または無症候梅毒が大部分を占めており、晩期顕症梅毒は1例となっています(図2)。

### ■症状

梅毒は、梅毒トレポネーマという細菌による感染症です。感染者の患部に含まれる梅毒トレポネーマが、主に性的接触により粘膜や皮膚の小さな傷から侵入し感染します。感染後の経過期間によって以下のような症状が現れます。

#### 早期顕症梅毒第Ⅰ期(感染後約3週間)

初期には、感染がおきた部位(陰部、口唇部、口腔内)にしこりができます。股の付け根の部分(鼠径部)のリンパ節が腫れることもあります。治療をしなくても症状は自然に軽快しますが、体内から病原体がいなくなったわけではなく、他の人にうつす可能性もあります。

#### 早期顕症梅毒第Ⅱ期(感染後数箇月)

手のひら、足の裏、体全体に特徴的な赤い発疹(バラ疹)が現れ、発熱、倦怠感等の症状が出る場合もあります。治療をしなくても数週間から数箇月で症状は軽快しますが、抗菌薬で治療しない限り、梅毒トレポネーマは体内に残っています。

#### 晩期顕症梅毒(感染後数年)

皮膚や筋肉、骨などにゴムのような腫瘍(ゴム腫)が発生することがあります。心臓、血管、脳などの複数の臓器に病変が生じ、死亡に至ることもあります。

### ■予防

感染部位と粘膜や皮膚が直接接触をしないように、コンドームを使用しましょう。ただし、コンドームが覆わない部分でも感染がおこる可能性があります。皮膚や粘膜に異常があった場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

表1 京都市の年次別報告数

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年 (3月24日現在)
男性	4	7	5	7	9	23	0
女性	2	0	3	1	2	15	3
合計	6	7	8	8	11	38	3

図1 京都市及び全国の報告数の推移

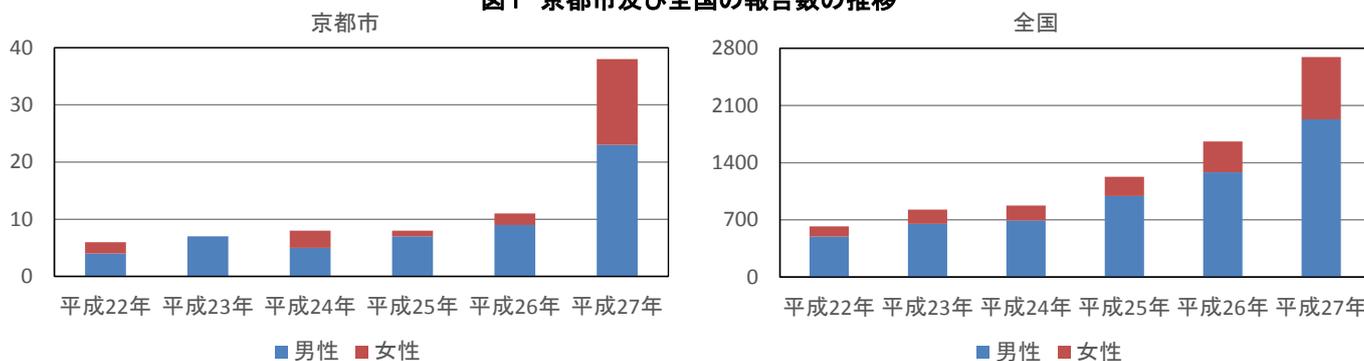
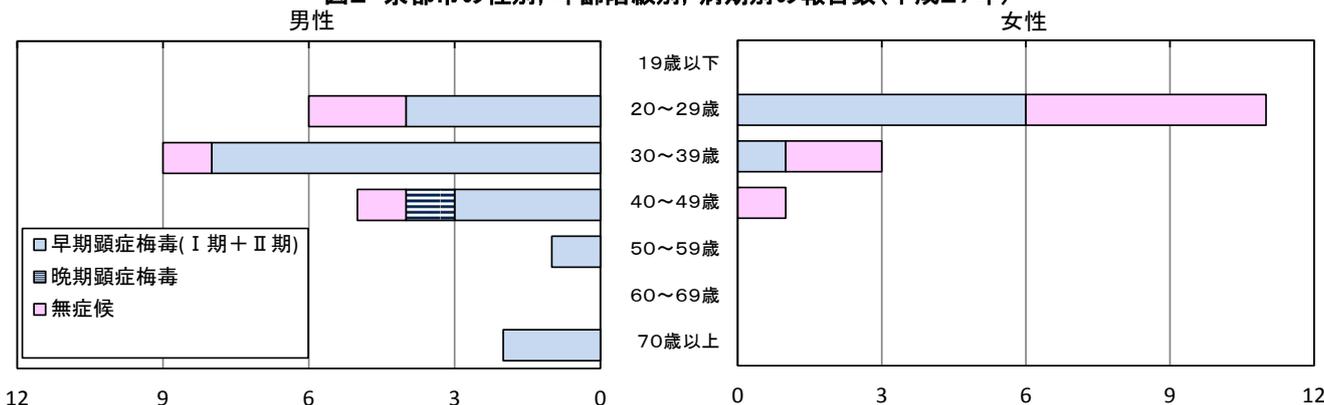


図2 京都市の性別、年齢階級別、病期別の報告数(平成27年)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第11週

疾病,行政区別報告数

平成28年3月14日～平成28年3月20日

データ入手日:平成28年3月24日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	53	-	1	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	64	1	-	5	10	-	-	1	1	-	-	1	-	-						
左京	104	-	-	2	36	-	-	1	1	-	-	2	-	-						
中京	55	1	-	3	8	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	45	-	-	1	25	-	-	-	1	-	-	-	-	-						
山科	100	-	-	13	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
下京	19	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	117	-	1	-	12	1	-	1	1	-	2	1	-	-						
右京	166	1	3	7	40	1	-	-	2	-	-	1	-	-						
伏見	159	-	1	16	57	1	-	4	6	-	-	15	-	-						
西京	198	-	1	7	42	3	-	-	1	-	-	1	-	-						
京都市計	1,080	5	7	57	240	11	1	7	13	-	2	21	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	7.57	-	0.25	0.50	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	12.80	0.33	-	1.67	3.33	-	-	0.33	0.33	-	-	0.33	-	-						
左京	14.86	-	-	0.50	9.00	-	-	0.25	0.25	-	-	0.50	-	-						
中京	11.00	0.33	-	1.00	2.67	0.67	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	15.00	-	-	0.50	12.50	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-						
山科	14.29	-	-	3.25	1.50	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-						
下京	6.33	1.00	-	0.50	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	23.40	-	0.33	-	4.00	0.33	-	0.33	0.33	-	0.67	0.33	-	-						
右京	20.75	0.20	0.60	1.40	8.00	0.20	-	-	0.40	-	-	0.20	-	-						
伏見	14.45	-	0.14	2.29	8.14	0.14	-	0.57	0.86	-	-	2.14	-	-						
西京	28.29	-	0.25	1.75	10.50	0.75	-	-	0.25	-	-	0.25	-	-						
京都市計	15.88	0.12	0.17	1.39	5.85	0.27	0.02	0.17	0.32	-	0.05	0.51	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

# 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第11週

年齢階級, 疾病別報告数

平成28年3月14日～平成28年3月20日

データ入手日:平成28年3月24日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	1,080	4	9	38	42	45	60	60	85	64	58	51	191	48	57	63	81	48	31	25	20
RSウイルス感染症		5	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		7	-	-	2	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		57	-	-	1	12	6	3	11	5	4	4	3	3	1	4	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		240	1	14	32	27	18	28	28	16	16	16	4	13	4	23	-	-	-	-	-	-
水痘		11	-	1	1	-	-	1	2	1	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		7	-	-	-	-	1	1	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		13	-	4	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		21	-	-	-	3	5	-	7	2	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	15.88	0.06	0.13	0.56	0.62	0.66	0.88	0.88	1.25	0.94	0.85	0.75	2.81	0.71	0.84	0.93	1.19	0.71	0.46	0.37	0.29
RSウイルス感染症		0.12	0.02	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.17	-	-	0.05	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.39	-	-	0.02	0.29	0.15	0.07	0.27	0.12	0.10	0.10	0.07	0.07	0.02	0.10	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		5.85	0.02	0.34	0.78	0.66	0.44	0.68	0.68	0.39	0.39	0.39	0.10	0.32	0.10	0.56	-	-	-	-	-	-
水痘		0.27	-	0.02	0.02	-	-	0.02	0.05	0.02	0.02	0.07	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.17	-	-	-	-	0.02	0.02	0.02	0.07	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.32	-	0.10	0.20	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.05	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.51	-	-	-	0.07	0.12	-	0.17	0.05	0.05	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第11週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年3月24日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	2,206	2,232	2,090	2,051	1,639	1,080
RSウイルス感染症	4	4	6	1	5	5
咽頭結膜熱	11	21	12	8	15	7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	72	68	95	83	64	57
感染性胃腸炎	306	333	303	295	256	240
水痘	7	20	13	10	12	11
手足口病	1	-	1	1	1	1
伝染性紅斑	14	11	9	16	7	7
突発性発しん	5	9	12	13	8	13
百日咳	2	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	-	-	-	-	2
流行性耳下腺炎	20	29	21	20	20	21
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	5	1	2	2	-
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	2,650	2,732	2,563	2,500	2,029	1,444

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	32.44	32.82	30.74	30.16	24.10	15.88
RSウイルス感染症	0.10	0.10	0.15	0.02	0.12	0.12
咽頭結膜熱	0.27	0.51	0.29	0.20	0.37	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.76	1.66	2.32	2.02	1.56	1.39
感染性胃腸炎	7.46	8.12	7.39	7.20	6.24	5.85
水痘	0.17	0.49	0.32	0.24	0.29	0.27
手足口病	0.02	-	0.02	0.02	0.02	0.02
伝染性紅斑	0.34	0.27	0.22	0.39	0.17	0.17
突発性発しん	0.12	0.22	0.29	0.32	0.20	0.32
百日咳	0.05	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.02	-	-	-	-	0.05
流行性耳下腺炎	0.49	0.71	0.51	0.49	0.49	0.51
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	0.50	0.10	0.20	0.20	-
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	43.35	45.40	42.35	41.26	33.77	24.76

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。